# 刊行にあたって

今回アジア研究センターの共同研究「湖南省藍山県過山系ヤオ族の言語学的研究」（2013 年度～ 2015 年度）の成果として『ミエン・ヤオの歌謡と儀礼』が刊行できることは大変に幸いなことである。まずは刊行にかかわりご尽力いただいた方々に心より御礼申し上げたい。

2015 年 4 月に神奈川大学プロジェクト研究所ヤオ族文化研究所は一般社団法人ヤオ族文化研究所に改組したが、2008 年の設立以来、中心となる調査地である中国の湖南省文聯・民間文芸家協会はもとより藍山県政府、藍山県の伝承者の祭司、儀礼を主催する家をはじめとする現地の方々のご協力のもと、調査研究の成果を積み重ねて来ることができた。この書面を借りて深謝申し上げる。

これまでヤオ族文化研究所は日本の文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B）2008 年度～2011 年度「ヤオ族の儀礼と儀礼文献の総合的研究」、同 2012 年度～2014 年度「ヤオ族の儀礼知識と儀礼文献の保存・活用・継承」、トヨタ財団 2009 年度アジア隣人プログラム 特定課題「アジアにおける伝統文書の保存、活用、継承」、公益財団法人横浜学術教育振興財団研究助成 2014 年度「ヤオ族儀礼文献の文化資源としての活用 ― 文献資料のデータ化と公開へ向けての試み ― 」を得て活動し、また神奈川大学アジア研究センターのメンバーとして共同研究「湖南省藍山県過山系ヤオ族の言語学的研究」を遂行してきた。2012 年湖南省長沙開催国際シンポジウム「ヤオ族度戒と道教・法教の伝度をめぐる問題」及び 2015 年神奈川大学開催国際シンポジウム「瑶族の歌謡と儀礼」は、神奈川大学の国際交流事業の支援を受けた。本著はヤオ族文化研究所がこれまで実施してきた調査研究活動を凝集した成果と位置付けられるため、以下にこの数年の活動を紹介する。

中国湖南省藍山県のミエン・ヤオ族が 2008 年 11 月に実施した度戒儀礼の儀礼内容の分析と合わせ、儀礼で使用された大量の儀礼文献及び文書の録文作成、校訂作業、解読分析、現代語訳を進め、儀礼の実践と儀礼文献の対応を明確にし、宗教儀礼知識の総体に関して立体的研究を行ってきた。2011 年 11 月には藍山県の盤家（大盤）で実施された還家願儀礼調査を行い、家を単位とする中規模の儀礼内容、使用文献を把握したほか、2010 年 8 月には藍山県で実施された

葬送儀礼の調査を実施することで小規模の儀礼内容、使用文献を把握したが、儀礼間の異同を確認するために必要な資料を得た。2009 年 8 月以降 2012 年 8 月、2013 年 8 月、2015 年 1 月に儀礼の祭司及び受礼者に対し聞き取り補足調査を行い、儀礼内容と使用文献及び受礼者の家族親族等についての確認作業を進め、儀礼の全容の解明に努めた。年中行事及び言語に関しても調査を進め、2012 年 3 月中国湖南省藍山県送船儀礼調査（国際常民文化研究機構の共同研究「アジア祭祀芸能の比較研究」班として研究所のメンバーが参加）、2013 年 2 月湖南省藍山県春節調査、2014 年 3 月湖南省藍山県言語予備調査、2014 年 8 月湖南省藍山県言語調査（神奈川大学アジア研究センター「湖南省藍山県過山系ヤオ族の言語学的研究」主催による）、2015 年 8 月湖南省藍山県言語調査（前述の神奈川大学アジア研究センター共同研究班主催。趙金付氏を招聘）を行った。2015 年 12 月から 2016 年 1 月にかけ藍山県の盤家（小盤）で実施された還家願儀礼調査を実施した。中国以外のヤオ族への調査も進め、2014 年 1 月タイ北部ミエン・ヤオ族調査、2015 年 3 月、同年 9 月、2016 年 2 月にベトナムミエン・ヤオ（ザオ）族の文献及び儀礼に関する調査を実施した。

また、ヤオ族の関連儀礼文献を収蔵するバイエルン州立図書館（250 件、2010 年 3 月）、オックスフォード大学ボードリアン図書館（100 件、2010 年 8 月、2012 年 12 月）、アメリカ議会図書館（45 件、2014 年 9 月）及び南山大学人類学博物館（130 件、2011 年 3 月、2011 年 6 月、2012 年 6 月、2015 年 8 月）で文献調査を行い、比較分析の材料を収集し、国際的なネットワーク形成を図った。2009 年 8 月中国長沙において湖南省民間文芸家協会と共同で「第 1 回湖南瑶族伝統文化研討会」を開催し、地元研究者との研究交流及び地元への還元を図った。2010 年 11 月に神奈川大学においてバイエルン州立図書館員、現地中国湖南省の研究者及び伝承者（祭司）を招聘し「ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム」を実施し、歴史学、文化人類学、地理学、言語学等多分野の研究者間での活発な研究交流を図った。さらに 2011 年 1 月に東京大学で「『ラオス北部のランテンヤオ族民間伝統文書の保存・集成・解題』プロジェクト・神奈川大学ヤオ族文化研究所共同研究会」を開催しラオスのヤオ族研究者との研究交流を深めた。2015 年 1 月にはヤオ族文化研究所主催講座「アジアに生きる少数民族の文化を知る」を実施し一般の方々への研究成果の公開を行った。

なおヤオ族文化研究所は年に6回程度研究会を開催するほか、『ヤオ族伝統文献研究国際シンポジウム予稿集』及び『瑶族文化研究所通訊』1～5号を刊行し、さらに神奈川大学歴民調査報告12集『中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅰ』（神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科発行）、同14集『中国湖南省藍山県ヤオ族儀礼文献に関する報告Ⅱ』及び同17集『南山大学人類学博物館所蔵上智大学西北タイ歴史文化調査団収集文献目録』でも研究成果の公表に努めた。この際映像資料に字幕を付すことで儀礼の実践と読誦されるテキスト及び呪文を明確化する取り組みをした。儀礼文献・文書及び画像資料は、ヤオ族文化研究所ウェブサイト（http://www.yaoken.org/）で公開している。

さらにメンバーが国際学会「地方道教儀礼実地調査比較研究」（香港大学）、「道教の帰依と伝度に関する国際会議」（フンボルト大学）、「アメリカ人文基金セミナー　道教の文献と歴史」（コロラド大学）、日本民俗学会第64回年会（東京学芸大学）、日本道教学会第63回大会（名古屋大学）、宗教生命関懐国際学術研討会（正修科技大学通識教育中心）、NEHセミナー「道教の文献と歴史への入門」（コロラド大学）、日本文化人類学会第47回研究大会（慶應義塾大学）、日本タイ学会2013年度（第15回）研究大会（横浜市立大学）、國學院大學中國學會第53回大会、同56回大会、同57回大会、道教文化研究会例会（専修大学）、華僑大學中日宗教文化論壇2010華僑大學哲學與社會發展學院主辦（華僑大學）、平成27年度第1回儀礼文化研究会（儀礼文化学会）、「比較視野中的道教儀式」国際学術研討会（香港中文大学人文科学研究所比較古代文明研究中心）にも招聘を受けるなど研究交流の成果を挙げた。

今回のようにミエン・ヤオ族の複雑な儀礼知識の中でも、特に解明が必要である言語や歌謡にかかわる刊行物が刊行できたのも、調査研究の積み重ねの結果といえるが、何よりヤオ族の伝統文化が世界中の種々な学問分野の研究者から関心を集めていることを表わしているのであり、本著を通じてヤオ族伝統文化が高く評価されることを切望し、また総合的に研究される必要があることを高らかに表明したく考える。

いわゆるヤオ族と他称される人々は中国ばかりでなくタイ・ベトナムをはじめとする東南アジア大陸部やアメリカ等世界各地に分散して居住しており、収集した儀礼文献・文書の公開を通じて自民族の文化を再発見し、再評価することに繋

がると考える。すでに本研究所の活動に呼応して、中国では近年新たに省レベルで湖南省瑤族文化研究センター、県レベルで藍山県瑤族文化研究学会が設立されたほか、相同の儀礼知識を伝承してきたタイのミエン・ヤオ族と中国のミエン・ヤオ族の間の交流を実現した。さらに 2015 年 12 月に藍山県で実施された「還家願儀礼」と 2016 年 2 月にラオカイ省サパ県チュンチャイ社で実施された「祭司として養成する子どもを選ぶ儀礼」に中国とベトナムの祭司が相互に参加する等ベトナムのミエン・ヤオ族と中国のミエン・ヤオ族の交流も進んでおり、ミエン・ヤオ族の儀礼伝承にさらなる展開が予想される。それぞれの国で程度の差こそあれ儀礼知識の継承が難しい状況ある中、儀礼と儀礼文献・文書及びその使用法を収集記録保存そして活用することは、ヤオ族の社会にとどまらず人類文化の保存継承活用の観点からもその意義は大きいと考える。

中国・タイ・ベトナム・日本・欧米等の諸機関とも連携し国際的な研究ネットワークが構築され、研究交流がさらに活発に行われることを切望するが、今後とも引き続き関係の方々のお力添えが不可欠と考える。

最後に、大学教育出版代表取締役の佐藤守氏をはじめとし、編集の方々には、差し迫った日程であったにもかかわらず煩雑かつ膨大な作業を粛々とこなしていただいた。あらためて感謝の意を表したい。

2016 年 2 月吉日

廣田律子

ミエン・ヤオの歌謡と儀礼
Songs and Rituals of the Mien-Yao

# 目　次

刊行にあたって ……*i*

**儀礼における歌謡** ——「大歌」の読誦詠唱される還家願儀礼を事例として ——
Songs in Ritual —— Recitation of “Great Song”（大歌）for Pien Hung（盤王）in the Initiation Ritual of the Mien-Yao —— ……（廣田律子）……*1*

はじめに　*1*
1. 還家願儀礼の行われた状況　*3*
2. 願書と願ほどき　*5*
3. 還家願儀礼の程序　*7*
4. 儀礼「盤王願」の実践　*9*
5. 儀礼における「盤王大歌」詠唱のもつ意義　*27*
6. 中国藍山県とベトナム国ラオカイ省の「盤王大歌」の対照　*30*

おわりに　*38*

**タイ北部のミエンにおける歌と歌謡語** ——「歌二娘古」発音と注釈 ——
Songs and Song-Language of the Iu Mien (Yao) of Northern Thailand —— Phonological Description and Interpretation of “*Kaa ɲei ɲaaŋ kəu*”「歌二娘古」—— ……（吉野　晃）……*55*

1. 緒　語　*55*
2. ミエンの〈歌〉　*56*
3. 〈歌〉のテキスト例「歌二娘古」　*59*
4. 整理と考察　*65*

**『大歌書』上冊記音** —— ミエン語（勉語）藍山匯源方言による ——
The IPA Transcription of the First Volume of the “Dageshu” according to the Mien Language of Huiyuan Village, Lanshan County, China ……（吉川雅之）……*73*

1. 緒　言　*73*
2. 『大歌書』上冊に現れた藍山匯源方言の声韻調　*74*
   (1) 声　母　*74*
   (2) 韻　母　*75*

(3) 声　調　78
3. 記　音　80

**ヤオ族宗教文献「意者書」から見る還家願儀礼**
—— 大庁意者の問卦と許願の部分を中心に ——
Yao Huanjiayuan Ritual seen from Ritual Text "Yizheshu" —— Centering on Wengua and Xuyuan in Dating Yizhe —— …… (丸山　宏) …… 193

はじめに　193
1. 関連する資料について　194
2. 大庁意者の還家願儀礼における位置　195
3. 大庁意者の全体構成　197
4. 大庁意者の冒頭部分の録文と書き下し　199
5. 意者書の許願部分の構成　207
おわりに　218

**「招兵」における五穀兵・家先兵・元宵神**
—— 中国湖南省藍山県の過山ヤオ族の事例から ——
Wu gu bing (五穀兵), Jia xian bing (家先兵) and Yuan xiao shen (元宵神) in "Zhao bing" (招兵) —— A study of the Mien-Yao in Lan shan (藍山) county in Hunan (湖南) province, China —— …… (浅野春二) …… 221

はじめに　221
1. 「招兵」を行う機会　222
(1) 「還家願」における「招兵願」　222
(2) 「度戒」における「招兵」　222
(3) 婚礼における「招兵」　223
(4) 運が思わしくないときに行う「招兵」　223
2. 「招兵」にかかわる神々と陰兵　224
(1) 招く対象　224
(2) 天兵・粮神・地域の神・喫斎の神　224
(3) 探して連れ戻す役割を負った者たち　227
3. 「招兵」の方法　228

(1) 五穀兵（魂）を招く　228
(2) 家先兵を招く　233
おわりに　239

**ベトナムのミエン・ヤオの衣文化** —— ラオカイ省の事例を中心に ——
Clothing of the Mien in Vietnam ……（内海涼子）……　247
1. ベトナムのミエン・ヤオの衣文化概要　247
2. ラオカイ省のザオ・ドーの衣文化　250
(1) ラオカイ省のザオについて　250
(2) サパ北部ザオの染織　253
(3) サパ北部ザオの日常の衣装　253
(4) サパ北部ザオの婚礼の衣装　265
(5) サパ北部ザオの祭司の衣装　267
(6) 儀礼画に描かれた司祭の脚絆の伝統　272
おわりに　274

**過山系瑤族（ミエン）に見る「三清神」について**
—— 中国湖南省永州市藍山県の儀礼神画・儀礼文献・儀礼実践からの考察 ——
About The Fam Ts'ing to see in The MIEN —— Study on The Ceremonial Paintings and Ceremonial Manuscript and Ceremonial practices of the China Hunan province, Yongzhou city, Lanshan county —— ……（譚　静）……　277
はじめに　277
1. 道教の「三清神」について　278
2. 儀礼神画に見る「三清神」　279
(1) 元始天尊神画　280
(2) 霊寶天尊神画　281
(3) 道徳天尊神画　281
(4) 総壇神画　282
(5) 神挿　284
3. 儀礼文献に見る「三清神」に関する記述　285
(1)「請聖書」の冒頭部分に配置された「三清神」に関する記述　286
(2)「接大三清歌」に見る「三清神」に関する記述　289

(3)「混沌歌」に見る「三清神」に関する記述　290
4. 儀礼実践に見る「三清神」　294
(1) 儀礼を構成する重要な骨子となる儀礼に見る「三清神」　295
(2)「三清神」と直接に関わる儀礼　301
おわりに　308

**儀礼にみるヤオ族の船** —— ヤオ族のもつ船のイメージ ——
The ship in ritual —— Image of a ship of the Yao —— ……（三村宜敬）……　315
はじめに　315
1. 東アジアにおける船送りの諸相　315
2. 過山系ヤオ族の送船儀礼　318
(1) 送船儀礼の準備　319
(2) 龍船の製作　319
(3) 六郎廟における儀礼　320
(4) 家における送瘟の儀礼　322
(5) 送船を締めくくる儀礼　324
(6) 読誦した儀礼文献の内容　325
3. 度戒儀礼における送船　327
4.「盤王節」祭祀に組み込まれた送船　329
5. その他の地域におけるヤオ族送船　330
(1) 広西壮族自治区における送船儀礼　330
(2) タイ北部における拆解儀礼にみる送船　331
6. 送瘟船に関する儀礼　333
(1)「調瘟船」儀礼　333
(2) 台湾の送王船　334
7. 還家願儀礼における船　335
8. まとめ　336
(1) 船と水との関係性　337
(2) 瘟神を乗せる船　338
(3) ヤオ族の二つの船　340